

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日	令和 2年10月28日
作成担当部署	企画課商工労働観光グループ

2 第三セクター等の概要

法人名	株式会社新冠ヒルズ
代表者	代表取締役 鳴海 修司
所在地	新冠郡新冠町字西泊津16番地の3
設立年月日	平成10年 7月30日
資本金	80,000,000円
新冠町の出資額	41,000,000円（出資割合51.25%）
業務内容	新冠温泉レ・コードの湯の管理運営

3 経営状況、財政的なリスクの現状

平成30年9月に発生した胆振東部地震の影響で、大きく収入が減少する中、赤字体質から脱却するための経営改善・業務改革を行うことを目的に、平成31年2月からコンサルティングを導入。業務改革の1つであるホームページ入替に伴い、ホテルシステムを変更し、オンライントラベルエージェントでの販売に切替えた結果、売上高や、ホテル稼働率向上などの成果が表れてきたが、令和2年1月中旬からまん延した新型コロナウイルス感染症の影響による売上の減少は、過去に経験のない危機的な状況になっている。宿泊（食事含む）・宴会等のキャンセル、日帰り入浴者の減少、料飲部門における生産性の低下（食材管理の不徹底等）が大きく影響し、2期連続赤字計上になった結果、翌年度以降の設備投資の遅れなどにつながっている。

4 地方公共団体の関与

平成30年度の赤字決算を解消すべく、業務改善・組織改革に取り組み出したところであり、老朽した施設設備の修繕にも積極的に取り組んでいる。資金的には、新冠ヒルズ自己努力により運転資金の調達に成功するなど、大がかりな公的資金投入には至っていないが、新型コロナウイルス感染症まん延の影響により売上が激しく減少するなどしていることから、指定管理料の算定方法など、見直しの検討が必要とされる。

5 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

宿泊客数などに、業務改善・組織改革の成果が出てきており、今後も一層の生産性向上の取組みを継続する。合わせて、経理関係業務の強化・専門家の会社運営ノウハウの享受など、収益性向上を目指し、赤字体質を改善する。

6 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

温泉部門：町民・近郊地域の利用を最優先として、浴場内の安全・衛生管理を徹底し施設を維持していく。

売店部門：地元土産品、季節に合わせた商品を中心に陳列、在庫管理を徹底し販売促進を図っていく。

温泉食堂部門：地元食材を活用したメニューに絞り込み、一般大衆価格で販売していく。

宿泊部門：日々、客室残室のルームコントロールを行い、ネット販売を中心に宿泊プランの造成を図っていく。合わせて、客室備品等の見直しを行い、顧客の満足度を上げていく。

レストラン部門：宿泊客を中心としたメニューの構築、地元食材を活用、朝食・夕食の喫食率をあげていく。同じく、地元食材を活用、地元住民・近隣顧客が満足できる良質な食事を提供していく。また、料飲部門における課題である、食材管理、原価管理を徹底し適正利益率を確保していくこと、及び一般管理費の徹底した管理（仕事・時間管理、諸経費の見直し等）を行い、収益確保を図る。

7 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		平成29年度	平成30年度	令和元年
	資産総額	114,438	96,447	59,480
	（うち現預金）	51,662	57,676	27,747
	（うち売上債権）	3,326	4,143	4,701
	（うち棚卸資産）	1,470	7,537	4,398
	負債総額	48,093	40,933	22,627
	（うち地方公共団体からの借入金）	0	0	0
	純資産額	66,345	55,514	36,853

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		平成29年度	平成30年度	令和元年
	売上総利益	92,840	192,340	194,682
	（売上高）	259,492	249,210	262,831
	（売上原価）	166,652	56,868	68,149
	販売管理費	107,541	212,688	224,295
	営業外収益	15,470	9,716	11,132
	当該純損益（税引後）	769	△10,811	△18,661